

生活施設をお考えの皆さまへ

新しい毎日がよくなるように、老健で リハビリをしてから、次の生活へ。

私たちはサ高住・有料老人ホーム・グループホーム・特別養護老人ホーム等への移行を、ご利用者にとって最良のかたちで支えます。

施設・設備のご紹介



リハビリテーションルーム



生活ユニット（食堂・談話室）

こんな変化がありました — 事例のご紹介

事例1 / サービス付高齢者住宅へ退所

70代・男性・脳梗塞後

退院後、介護付き有料老人ホームへの入居を検討されていた方が老健でリハビリを継続。排泄の自立を取り戻したことで施設選びの選択肢が広がりました。

- 介護付き有料 → サ高住へ変更
本人の自立度に合った環境へ
- 毎月の費用負担が大幅に軽減
ご家族の経済的な安心にも

事例2 / 特別養護老人ホームへ退所

80代・女性・廃用症候群

特養への入居を検討中、ベッド上でのみの生活が続いていた方。老健でのリハビリにより2つの変化が生まれました。

- 離床できるようになり生活の質が向上
食事・会話・日光浴が日課に
- ベッド上での安楽な姿勢を獲得
褥瘡予防・苦痛軽減を申し送りして次施設へ

事例3 / グループホームへ退所

80代・女性・認知症

「帰りたい」と落ち着かない日々が続いていた方。認知症短期集中リハビリと予防的視点での生活リハビリを組み合わせ、本人のペースを大切に關わりました。

- 穏やかな日常へ（BPSDの緩和）
不安・興奮が和らぎ表情が豊かに
- 関わり方・環境調整を申し送り
グループホームでの生活につながる

生活の場所が変わる前の、経路の違い

リハビリを経ないケース

病院・自宅 → 機能低下のまま → 生活施設

意欲の低下、介護負担の増加、QOL（生活の質）が上がりにくい状況になりやすいです

老健を経由するケース

病院・自宅 → 老健 → 生活施設

心身機能・自信・生活リズムを整えてからの生活施設への移行は、その先の毎日が良くなります

私たちにできること

● 専門的リハビリ

PT・OT・STによる個別リハビリで、残存機能を最大限に引き出します。

● 生活動作の再獲得

食事・排泄・移動など、生活に直結するADLの訓練を毎日行います。

● 認知症リハビリ

認知症短期集中リハビリで、BPSDの緩和と穏やかな生活を支えます。

● 丁寧な申し送り

関わり方・環境調整・姿勢管理など、次の施設へ確実につなげます。

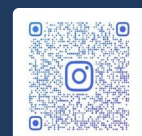
介護老人保健施設 Challenge すこやか 相談窓口

TEL : 022 (724) 7430 / FAX : 022 (724) 7431

見学・相談随時受付中 支援相談員：渡部・高橋・川中

お気軽にご相談ください

公式インスタ
はこちら



施設HP
はこちら

